

日本共産党

鈴木市議会議員



はしづめ
圭一

はしづめ圭一 検索

日々の活動はFacebookやブログ、HPでご覧下さい
Tel. 090-6577-3617 k_hasizume_12@yahoo.co.jp

今でしょ!! コミバス、地域バス

クルマに乗らなくなっても 元気に暮らせる町に



「生活交通」を提案し続けている はしづめ圭一市議
に提案のポイントをお聞きしました。

Q1 なぜ、生活交通を提案し
続けているのですか？
多くの市民の方の要求だから

20万人市民の皆さんから、市への様々な
要望がありますが、「クルマを手放したら何
も出来ない、生活の足を何とかしてほしい、ク
ルマに乗らなくなっても元気に暮らせる町に
してほしい」という声がとても多いと感じるか
らです。

Q2 提案のポイントは？
**地域巡回バスと、中央周回
バスで全市をカバー**

鈴鹿市は市街地が分散した広い街です。移
動手段を確保してほしいという要求はどの地
域でもあります。鈴鹿市全体の「生活交通網」
をどう作っていくか。それは、それぞれの地
域内を路地から路地へと巡回する小型バス
(8人〜10人乗り)と、主要中心街を周回す
る中型乗合バスの組み合わせが鈴鹿市にふさ
わしいと、私は提案しています。



Q3 なぜ玉城町方式を参考
にしているのでしょうか？
**運行経費が安く健康作りにも
貢献できるから**

玉城町の「元氣バス」は、東京大学が開発し
たコンビニクルというシステムで運行されてお
り、人口2万人位の地域内での運行に適して
いると言われています。鈴鹿市を、行政区を
基本に10地域ぐらいにわけて、その地域内
を電話予約で走らせる方式が最も効率的だ
と考えます。



Q4 なぜ無料にこだわって
いるのでしょうか？
**多くの市民が
気軽に利用できるから**

市内でも朝夕にはデイスサービスの送迎車が
多く走っています。このように運賃無料だと
白ナンバーの車を普通運転免許で運行出来
ます。有料にすると2種運転免許が必要で運
行許可など様々な規制に縛られます。有料
にすると毎日運賃を集計するなど事務経費
もかかります。運賃は無料にして、広く市民
の皆さんや商店・企業などに「協賛金」など
をよびかけることを提案しています。



Q5 多くの市民から待ち望
まれていますね。
**どういう方式が良いか、
議論を広めましょう**

高齢化社会を迎えて、全国で様々な生活交
通が試され運行されています。

乗り合いタクシー方式も多いですが、運賃
が1乗車500円前後のため利用は限られて
います。また市がタクシー会社に支払う補助
も、1乗車運行に1000円位必要なため経
費がかさみます。地域住民が主体となった取
り組みも、実施地域が限られており、全市的
な展開には課題が多いのです。

無料を含め、どういう方式が良いか議論を
広め、地域任せでなく鈴鹿市が主体となって、
多くの市民に愛される「生活交通」を全市的
に作り出すことを提案しています。



三重県玉城町は、3回視察しました。

三重県玉城町では、9人乗り
ワゴン車3台を、電話予約すれ
ば家の近くの停留所まで迎え
に来るオンデマンド(予約)方式
で、無料で運行しています。
運行の主体は社会福祉協議
会で、お年寄りの外出促進を重
視しているため、年間運行経費
は約1千8百万円ですが、後期
高齢者通院医療費が年間1千
百万円ほど減らす効果があった
と言われています。



日本共産党の政策と活動をお知らせします。

すずか民報 2019年4月号外
発行責任者 辻井良和 TEL 386-0529



刈谷市を走る公共施設連絡バス。
運賃無料で6路線を運行。人口16
万人の街で年間70万人が利用し
ています。2019年1月視察。

安心安全な雨水対策を

白子駅周辺は重点地区

はしづめ圭一議員は、白子駅前の雨水浸水対策について、2度の一般質問を行いました。

「白子駅周辺については、新生公園雨水貯留池をはじめ、全ての浸水対策が100%機能しているにもかかわらず、浸水被害が発生している状況を踏まえ、平成3年に策定した『白子地区浸水対策検討書』の見直し、白子第3排水機場等の老朽施設の更新計画、ならびに当地区において、江島ポンプ場への流入渠のような地下への大きな施設を埋設するなど、さまざまな選択肢を考慮し、浸水対策施設整備計画を策定してゆく」(2015年9月議会)。「白子駅周辺の浸水対策については、重要度、緊急性ともに高く、早急に検討すべき重点地区と位置づけて対策案の検討をしている」との答弁でした(2018年9月議会)。

2019年3月に公表された『鈴鹿市総合雨水対策基本計画(案)』では、白子第3排水機場ポンプ増強と、白子中央雨水1号幹線の水路改修



白子第3排水機場

が、中期計画(2019年~2028年)に位置づけられています。

金沢川下流域の河川改修は県に要望

「近年の記録的豪雨、およびそれに対応した金沢川上流での治水事業による流量の増加が見込まれるが、金沢川下流域では土砂の堆積や雑木の繁茂が顕著であり、流下能力を阻害し浸水被害を引き起こす懸念もあるので、下流域を管理する三重県に対して河川改修の促進と維持管理の拡充を強く要望している」との答弁でした。(2018年9月議会)

上下水道料金の値上げは過大!

上水道12.5% 下水道20.0%

上水道は、配水池や老朽管の更新、耐震補強を進めています。節水などで料金収入が減り経営は大変ですが、市民への負担を考慮し値上げは最小限にすべきです。今後10年の赤字予想額17億円だけを解消するのに本当に必要な値上げ幅は6~7%で済みます。

下水道事業について、一般会計からの繰り出しは多額ですが、公共インフラの整備への投資であり、今後数年間をピークにその後は減少が見込まれます。また事業の進捗により使用料収入は着実に増えて、借入金残高も減っていきます。これから経営が悪化していくのなら値上げも検討すべきですが、どの数字を見ても今より



建て替え工事が完了した平野送水場

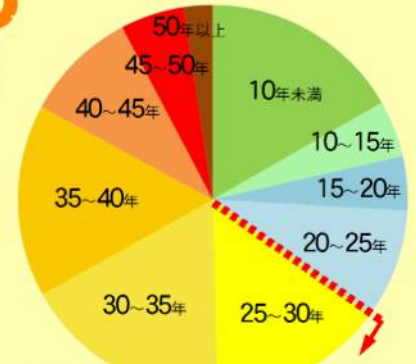
も悪化することはないので、いま値上げする必要はありません。下水道の普及率は現在55%、今後10年で70%をめざし集中的に投資し、平成38年度で概ね終了させる計画です。その段階で、合併処理浄化槽の維持費などとも比較検討すべきです。(2017年12月議会)

学校・保育所

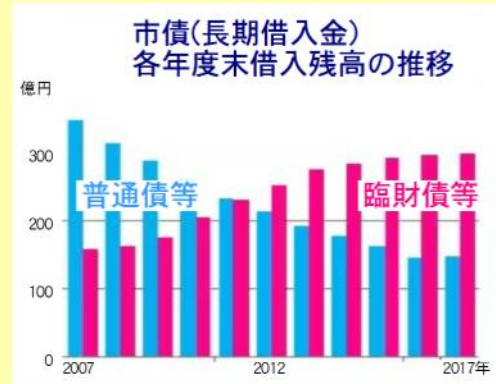
ボロボロのままでは

次世代に渡せない

市の『公共施設マネジメント』計画では、築40年を超える校舎・体育館などの建て替えが抑えられ、その間にさらに老朽施設が増えていきます。いま、思い切った集中投資と財政計画が必要です。「借金を次世代に残さない」と言うだけでは、ボロボロ施設を子どもや孫に渡すことになってしまいます。



現在、6割以上が築30年超に
公共建築物の老朽化状況(平成25年度末)



市の借金は半減したのに、
国の肩代わり借金が倍増



「財政きびしい」は、
国の責任が大きい
個人市民税は回復するも、
法人市民税は下がったまま

学校施設整備の遅れは、待ったなしの課題 避難場所にもなる学校トイレの洋式化は緊急に

消費税に頼らない 「別の道」を提案します

アベノミクスで大儲けした大企業や富裕層に、応分の負担をもとめれば10%増税などしなくても社会保障の財源はつくれます。

大企業が
中小企業なみの
法人税負担 **4兆円**
国の税収増

富裕層の
株取引に
欧米なみ課税 **1.2兆円**
国の税収増

ウソ、偽装、ごうまん、強権...

安倍政治にサヨナラを

家計も賃金もマイナス、「生活が苦しい」という国民の現実...、どこからどうみても消費税10%は無理。日本共産党を伸ばし、増税中止においこみましょう。



日本共産党